

令和5年度 いのちの授業 事例集（中学校）【その他】

掲載数

33

地区	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 川崎市	中複合	その他	がん経験者やその家族の話聞くことでいのちの大切さを考える。	外部からがん経験者とがん患者の家族の方を招致し、全校一斉道德の形で講演会を実施した。経験者の生の話を聞くことで、今生きていることのすばらしさ、ありがたさを改めて感じ、健康的に生きることの大切さを学んだ。	講師として神奈川県がん患者団体連合会より2名お越しいただいた。全校生徒対象講演方式で実施。
2 川崎市	中3	その他	自分と相手を大切にすると？	様々な情報社会の中で、義務教育を終了し旅立つ3年生に、性に関して適切な意思決定と行動選択できる力を身につけ、他者への思いやりと命の尊さを学ぶ授業。講師の熱いメッセージは、一人一人が大切に尊ばれる存在であるという想いが伝わり、「中学校生活では生きていることがつらいと感じることもあったが自分だけではないと安心した」「1回きりの人生、自分も相手も大切にしよう」と考えた生徒が多かった。	講師は、大学の教授でもある産婦人科医
3 川崎市	中3	その他	Here We Go! Unit3 「Lessons From Hiroshima」	修学旅行で広島を訪れた主人公たちが、現地でピースボランティアの方に会い、広島原爆について学んだ。主人公たちは、それらの経験を通して、平和な世の中にするために自分たちに何ができるかを考えた。 このストーリーを読んで、生徒も平和を促進するために自分たちに何ができるかを考えた。「ひとの命はとても尊いので、2度と戦争を起こさないようにしたい。」「原爆で亡くなった人たちの命を無駄にしないように、平和な世の中を作るための努力をするべきだ。」「平和な世の中を作るためには、まずは身近な人たちに親切にしたり、身近な人たちの命を大切にしたりする必要があると思う。」というような意見が生徒からあがった。	英語科の授業で行った。
4 相模原市	中複合	その他	防災教育 「1分間行動訓練～災害時の自分の対応」	1/1に能登半島での震災を受けて改めて、本校でも災害時の対応などを見直した、教職員で招集や動き方など再確認をした。9月に行った、「1分間行動訓練」を再度行い、訓練後実際に大地震が起きた際の避難所の確認、どのように動くかなど生徒に指導をした。HPに記載されていることも伝え、生徒・保護者・職員が落ち着いて行動できるように行った。生徒は自分の命を守るように、また教員は生徒の命を守るために迅速な対応ができるように心がけていくきっかけとなった。	全学年一斉に行った。指導については学級担任より指導。

5	横須賀市	中複合	その他	食育講演会 ～弁当の日を通して食と健康のプロになろう～	外部講師を招き、「自分でつくるお弁当の日」について講演を聞いた。献立・買い出し・調理・弁当箱詰め・片づけまでを子どもだけにさせ、親は手伝わない。その経験から生徒の独立・自立へつながること、お弁当を自分で作ることで他者を思いやる・感謝する気持ちを育むきっかけとした。また、講演の後は実際に生徒が自分でお弁当を作る「お弁当の日」を全校で実施した。	講演
6	横須賀市	中1	その他	喫煙防止教室	喫煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議から講師を招き、喫煙が心身に与える影響についてご講演いただいた。海外で発売されているタバコのパッケージを持参していただき、国内製のものと違いについて、生徒が考えるきっかけを与えていただいた。講演後の感想では、喫煙をしている保護者の方に今日の内容を伝えたいといったものもあり、実生活へ役立てようとする姿が伺えた。	喫煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議
7	横須賀市	中2	その他	飲酒防止教室	ASK 認定依存症予防教育アドバイザー 飲酒運転防止インストラクターの講師を招き、飲酒が心身に与える影響についてご講演いただいた。講師自身が経験したことを元に話が展開され、飲酒後の体に出る反応についても代謝時間を示すなど、より具体的な内容となっていたことから、生徒からの質問や感想も実生活と結びつくものが多かった。	ASK 認定依存症予防教育アドバイザー 飲酒運転防止インストラクター
8	横須賀市	中3	その他	薬物乱用防止教室	講師：神奈川県警察少年相談・保護センターから講師を招き、喫煙・飲酒が薬物乱用につながるきっかけ、違法薬物の摘発などについてご講演いただいた。昨今話題に挙がる、総合感冒薬の不適切な内服についても触れていただき、薬物乱用がより身近なものとして捉えられるようにしていただいた。	神奈川県警察 少年相談・保護センター
9	湘南三浦	中複合	その他	防災教育 「予告なし避難訓練」	震度5強の地震が発生し、出火のためグラウンドに避難するという訓練を予告なしで実施した。これまでの避難訓練で身につけた力を活用しながら、より実践的な環境の中で、生徒が自分自身の命を守るために自ら考え行動できるようにした。避難終了後、避難行動が適切であったか振り返りを行い、改善点について話し合った。	全学年対象 参考資料なし
10	湘南三浦	中1	その他	湘中ルーム「居場所づくり」	湘南台中学校の別室登校の生徒のための部屋で、2021年度に開設し、現在に至る。年々不登校生徒が増加していることもあり、不登校生徒の居場所として、「湘中ルーム」を開設した。 運営にあたり、教員、介助員、学習支援員、学生ボランティア、地域の見守りボランティアなど多くの方々が関わった。	全学年、通年
11	湘南三浦	中複合	その他	性の健康教育	特別支援学級で、7月と9月に性教育の一環として、講師の方を招いて、生徒、保護者を交えて、性の健康教育を行った。 生徒、保護者を対象に、体のしくみ、プライベートゾーン、人との距離感などの学習を通して、自分のいのち、他者のいのちを大切にすることを育む機会となった。	

12	湘南三浦	中複合	その他	いじめ暴力撲滅運動	生活委員会の活動として、年間を通していじめ暴力撲滅運動に取り組んだ。今年度は、11月に全校一斉授業を実施し、各クラス生活委員の主導により、ストレスの感じ方やそれにどう対応するかには個人差があることを理解する「心のコップ」というワークやいじめアンケートの実施・分析を行い、各クラスの課題点や改善方法を話し合った。また、まとめとして、個人による「いじめ撲滅宣言」を行うとともに、生活委員と部活動の部長については各クラスをまわり、自分の宣言を発表した。全校生徒一人一人が主体的にいじめ問題と向き合い、考える取り組みとなった。□	生活委員会 全校生徒
13	湘南三浦	中複合	その他	自分が生まれた時のことについて考える	2学期の三者面談の時期に合わせ、出産時の写真やエピソードのパネル展示を行った。「100人のお産プロジェクト」代表の方を中心にパネル内容を検討し、家族がどれだけのうれしい気持ちで赤ちゃんを迎えたのかが伝わるような写真を厳選し、展示を行った。	100人のお産プロジェクト
14	県央	中複合	その他	性教育 「生命教育」 「生命と性の健康教育」	1年生の授業では赤ちゃんの模型を抱っこしたり、妊婦体験を通して、生命誕生の流れを学んだ。 2年生の授業では話し合い活動の中で性について考えたり、助産師としての先生の実体験を聞くことで命の大切さを学んだ。	講師は大学講師に依頼をした。 1年生が1時間の講演、2年生が2時間の講演を聞いた。
15	県央	中複合	その他	人権講演会 「多様性や互いの違いを受け止めあえる社会を目指して」	全学年での人権講演会で、「多様性や互いの違いを受け止めあえる社会を目指して」というテーマで講演会を行った。講師の先生自身も、レズビアンで、学生時代のご自身の体験を通して、わかりやすく講演をしていただいた。生徒自身も含め、皆が多様な中の一人であるということの体感・体験的理解を促した。	
16	県央	中3	その他	生命と性の健康教育 「危険ドラッグ予防教室」	薬物乱用は、誰の身近にも起こり得る問題であり、大麻グミや市販薬の過剰摂取など、今まさに起きている様々な手口で薬物乱用が広められようとしている。そんな社会で生きていかなければいけない現実を知り、生徒自身が今後どのように生活をしていかなければいけないか、考える良いきっかけとなった。また、薬物乱用による健康被害や怖さだけでなく、薬物等の誘惑に絶対に負けない気持ちをしっかり持つことにより、充実した人生を送ることができることを学ぶことができた。	【講師】 昭和大学 保健医療学部 看護学科/助産学専攻科 教授 【教材】 PowerPointによるスライド（動画含む）
17	県央	中1	その他	「いのちの授業」	助産師より「いのちの誕生」について講話の後、本校の父親経験者より、父親からみた「いのちの誕生」について話（妊娠・出産時の支え方等）を行った。ベビー人形の抱っこ体験も実施した。	講師は助産師

18	県央	中1	その他	いのちの授業 ～1年生のあなたへ～	助産師をお招きし、講演会という形で「いのち」や「性」についてお話をしていただいた。詳しい内容としては、「助産師について」「いのちの始まり」「ふれあいの13段階」「妊娠・出産」「自分という存在、相手という存在」などである。子どもたちが日頃、自分がどのようにして生まれてきたのかについて考える機会は少ない。その中で、実際にいのちの誕生に直接関わっている講師の先生のお話を興味をもって聞いている様子が見られた。講演の中では「いのちの価値」についてのお話もあり、「生きているだけで素晴らしい、生まれてきてくれてありがとう」という先生の言葉から、自分の価値を自ら肯定的に受け入れることの大切さに気づいた生徒もいた。	助産師
19	県央	中複合	その他	戦争	村の平和学習の事業で、8月6日に広島原爆ドームに行き、式典にも参加をした。参加者は村内の中学生5名となっている。参加をして、平和について考えた内容をまとめ、作文にした。戦争のない世の中にするために何ができるか、日々大切にしたいことは何かなど考えて村内の2校の中学生が集まって発表した。	発表会は同じ村内の中学校と合同で行った。
20	中	中複合	その他	生き方・命の大切さを学ぶ	めぐみ住宅クリニックでエンドオブライフ・ケア協会の方を講師に招聘し、いのちの大切さを学ばせる機会となった。また、教師側からも命を守ることの大切さとともに教員自身の心のゆとりを持てるような講演内容であった。	講師：めぐみ住宅クリニックでエンドオブライフ・ケア協会 全校対象
21	中	中3	その他	平和の尊さ	2歳の時に広島で被爆し、その後発病し、闘病生活に入るも生きることへの強い執着を「つる」を折ることで示した佐々木偵子さんの物語を英語で読解する中で平和の尊さ、生命の尊さを実際に生徒が折り紙で「つる」を折る中で感じてもらい、8月の原爆記念日に思いを寄せる教材として授業を展開し、世界に平和への思いを英文で発信できるように努めた。	三省堂 NEW CROWN 3 「THE STORY OF SADAKO」
22	中	中2	その他	・未来の自分のために必要なこと ・大切ないのち	新しい命を生み出すことができる年齢になっていきているため、責任感を持つことが必要であること、また自分は命のバトンをつないできた大切な命であることなどの話を聞いた。さらに、妊婦体験、赤ちゃん抱っこ体験を通し、命を産み、育てることの大変さについても学んだ。生徒たちは講義や体験に真剣に取り組み、命の大切さを感じていた。	平塚市の助産師 保健師
23	中	中複合	その他	講演テーマ 「しくじり先生」	全校生徒を対象に体育館で講演会を開催した。映像を使ったお笑いネタやクイズなどを通して生徒の心に残る講演会であった。生徒からは「嫌なことや辛いことがあったときに、死にたいと思った事もあったが、講師の話聞いてすごく励まされた。」という感想が書かれるなど「いのち」と向き合う時間となった。	講師は、お笑い芸人

24	中	中複合	その他	防災教育 「大地震の経験から学ぶこと」	宮城県出身の先生が自身の体験談を、宮城県の写真を用いながら解説。気仙沼の震災前の写真と震災後の写真を比較したり、地震伝承施設などの写真を用いて、津波の被害の大きさを説明していた。また、「あたりまえ」は「あたりまえではない」、生きていることに感謝をするように伝えた。生徒は、身近な人の実体験であるので、より親近感をもって話をきくことができた。今回の講演を聞き、日々をより大切に、また、災害への備えの大切さを学んだ。	
25	中	中複合	その他	安全教育 「自転車を利用する際にどういのちを守るか」	自転車を利用する際の安全運転及びヘルメット着用の重要性を意識し、自転車を利用する際にどう自分の命を守るか考えた。スタントマンが実際に疑似交通事故を起こす実演のため、生徒は真剣に見ていて、いのちを守るための自転車の乗り方について考えた。当日は、疑似交通事故の様子を見たくない生徒もいることを想定し、別室を用意する配慮をした。	講師は、スタントマン。全校生徒対象。スタントマンによる疑似交通事故を起こす実演を見る。
26	県西	中2	その他	薬物乱用防止教室を通して、いのちの大切さを学ぶ	講師を招き、薬物乱用防止教室を開いた。薬物乱用の基礎知識、薬物乱用の危険性や身体への影響、誘われた時の断り方について具体例を示しながら講演してもらった。生徒の感想用紙には「薬物が自分を破壊していくことがわかった」「1回の使用が死につながる」などが書かれており、危険性のある薬物から自身のいのちをどう守るか考える機会になった。	講師：小田原保健福祉事務所員 講師からは、講師の近い人が実際に薬物乱用をしていたことや、誘われたことなど実際的な話を聞くことができた。
27	県西	中3	その他	Visas for 6,000 Lives	杉原千畝の功績に関する話の読解理解をした。文字だけの理解ではなく、彼のユダヤ人救出の思いと、世界平和への希望はどのようなものだったかを共有した。	Here We Go! English Course3 P.131
28	県西	中2	その他	性教育講演会 「いのちについて、性知識の正しい理解」	妊娠と出産、二次性徴に伴う男女の心や体の変化と思いやり、デートDV、性感染症とその予防、LGBTQ+ (性の多様性)について、助産師の方からお話して頂いた。感想では、「自分がこうして生きていることは奇跡なんだ」「自分自身をこれからも大切にしていきたい」「LGBTQ+について、悩んだり、辛い思いをしたりしている人がいることを初めて知った」「お互いを尊重しあえる関係を心がけたいと思った」といった声が聞かれた。	講師：助産師
29	県西	中複合	その他	【全校集会における生徒指導担当からの「命の話」】	長期休業前の全校集会では、生徒指導担当が家庭での過ごし方や悩みがある人へのリーフレット配付について話す時間がある。今年の冬季休業前には、当時小学校4年生だった児童が書いた詩「電池が切れるまで」をスライドで提示し、担当が朗読した。ガンに犯され命が長くないことをお医者様から告げられた作者が「命を無駄にせず最後まで精一杯生きよう」と伝える詩により、自身の命の大切さを感じる時間となった。事故や病気に注意を促すとともに、悩みを抱える生徒の心にも響く話だった。	「電池が切れるまで」

30	県西	中複合	その他	・文化活動発表会 「いのちの授業を受けて」	生徒会保健委員会では、9月に行われたいのちの授業での全校生徒の振り返り記述を参考に、よい記述を選定して、文化活動発表会の展示を行った。生徒の感想が書かれたハート型の色紙を貼った掲示物は、心温まるものである。感想には、「人は何事にも一人で悩みを抱えてはいけないと思った。」や「自分の周りの人が苦しんでいる時は質問ではなく、相手の気持ちをわかろうとする事が大切である。」というような今後の展望がみられた。生徒は他者の感想を見ることによって、自分を認め、相手を受け入れ大切に思う気持ちに気づくことができた。	
31	県西	中複合	その他	人権週間	津久井やまゆり園での事件を受け、神奈川県で設定されている「ともに生きる社会かながわ推進週間」は夏休みの時期であるため、本校では12月に「人権週間」として全校での取り組みを続けている。今年度は各クラスにカードを配付し、「本校生徒のいいところ」（友達にされてうれしかったこと等）を個人で書き、生徒会本部役員が集約してハート形の掲示物を作成した。記入は強制せず、書きたい人が書くようにした。	複合学年：1～3年
32	県西	中3	その他	性と生を大切に～知っておきたい身近な性感染症～	3年生を対象に例年行っている「性感染症予防講演会」において、大学教授をお招きし、講演を行っていただいた。性感染症のみならず、多様な性自認、デートDV、避妊や中絶についてもお話しいただいたため、自他の「いのち」の大切さ、尊さについて知ることができた。	講師：大学教授
33	県西	中複合	その他	いじめ予防	いじめを未然に防ぐことを目的として、いじめ防止授業を実施した。単に、「いじめは人権侵害だ」と抽象的なスローガンを唱えるのではなく、生徒は実際に起きた事例を参考に「いじめ」とは何かを考えた。また、生徒たちは、「いじめ」の当事者はどんな気持ちだったのか、「いじめ」を予防するためにどうしたらよいか等を考え、自分自身のこととして受け止めようとする生徒もいた。	講師：神奈川県弁護士会所属弁護士